



決算説明会

2008年3月期第1四半期

2007年7月31日

ミネベア株式会社

1Q連結業績ハイライト

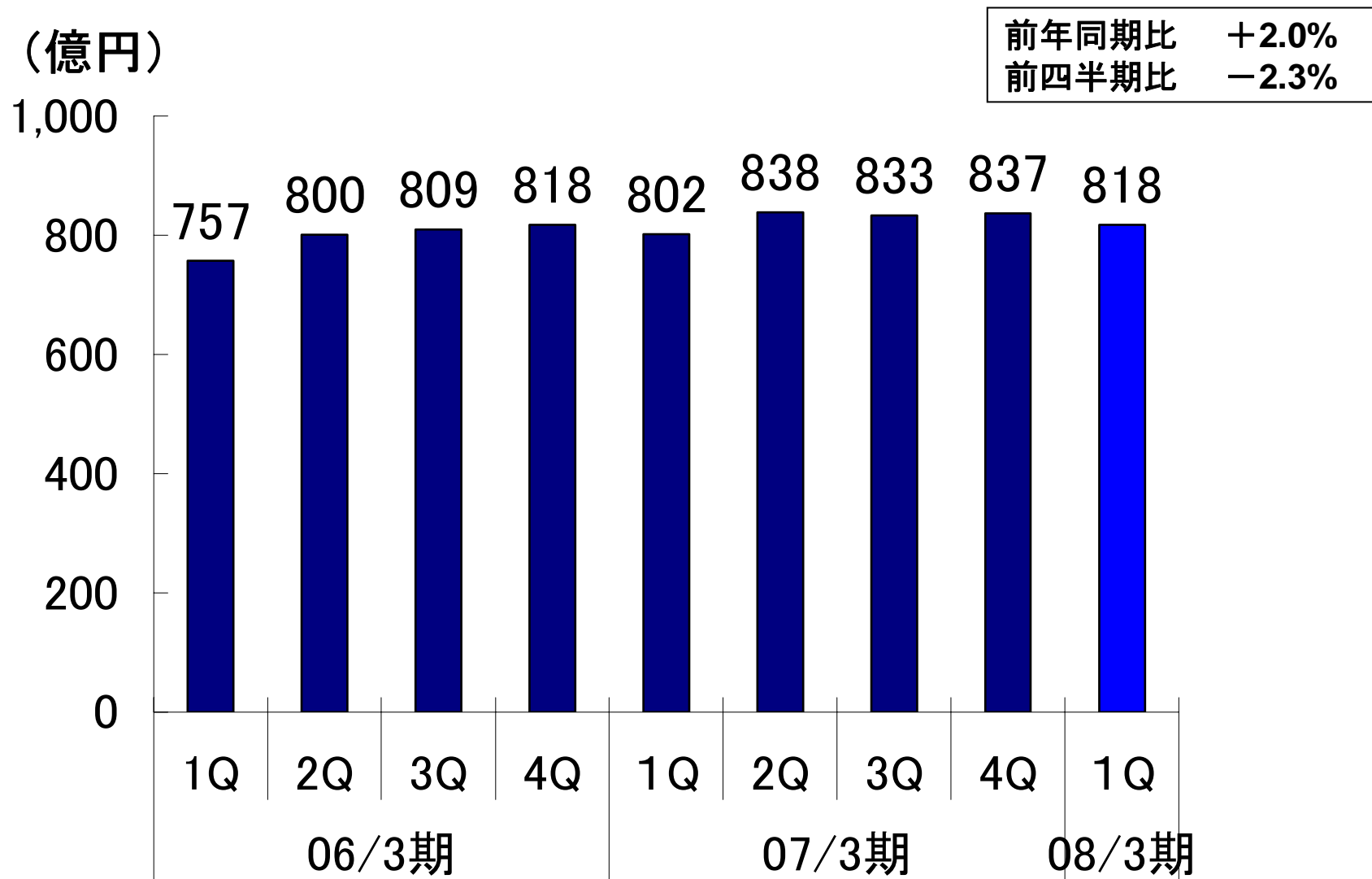
- ・タイバーツ高、一部の製品市場の弱さ等の悪影響にもかかわらず、
営業利益は増加

(百万円)	2007年3月期		2008年3月期	前年同期比	前四半期比
	1Q	4Q	1Q	伸び率	伸び率
売上高	80,201	83,692	81,766	+2.0%	-2.3%
営業利益	5,858	6,289	7,115	+21.5%	+13.1%
経常利益	4,713	5,401	6,252	+32.7%	+15.8%
税引前利益	5,205	3,334	5,476	+5.2%	+64.2%
当期純利益	3,288	1,185	3,133	-4.7%	2.64倍
一株当たり(当期)純利益(円)	8.2	3.0	7.9	-4.7%	2.64倍

為替レートの変動 07/3期1Q → 08/3期1Q
 US\$ 114.71円 → 119.85円、ユーロ 143.49円 → 161.22円
 タイバーツ 3.00円 → 3.70円(3.44円)、人民元 14.31円 → 15.55円
 但し、カッコ内は、タイ中央銀行発表のオンショア・レート

四半期推移

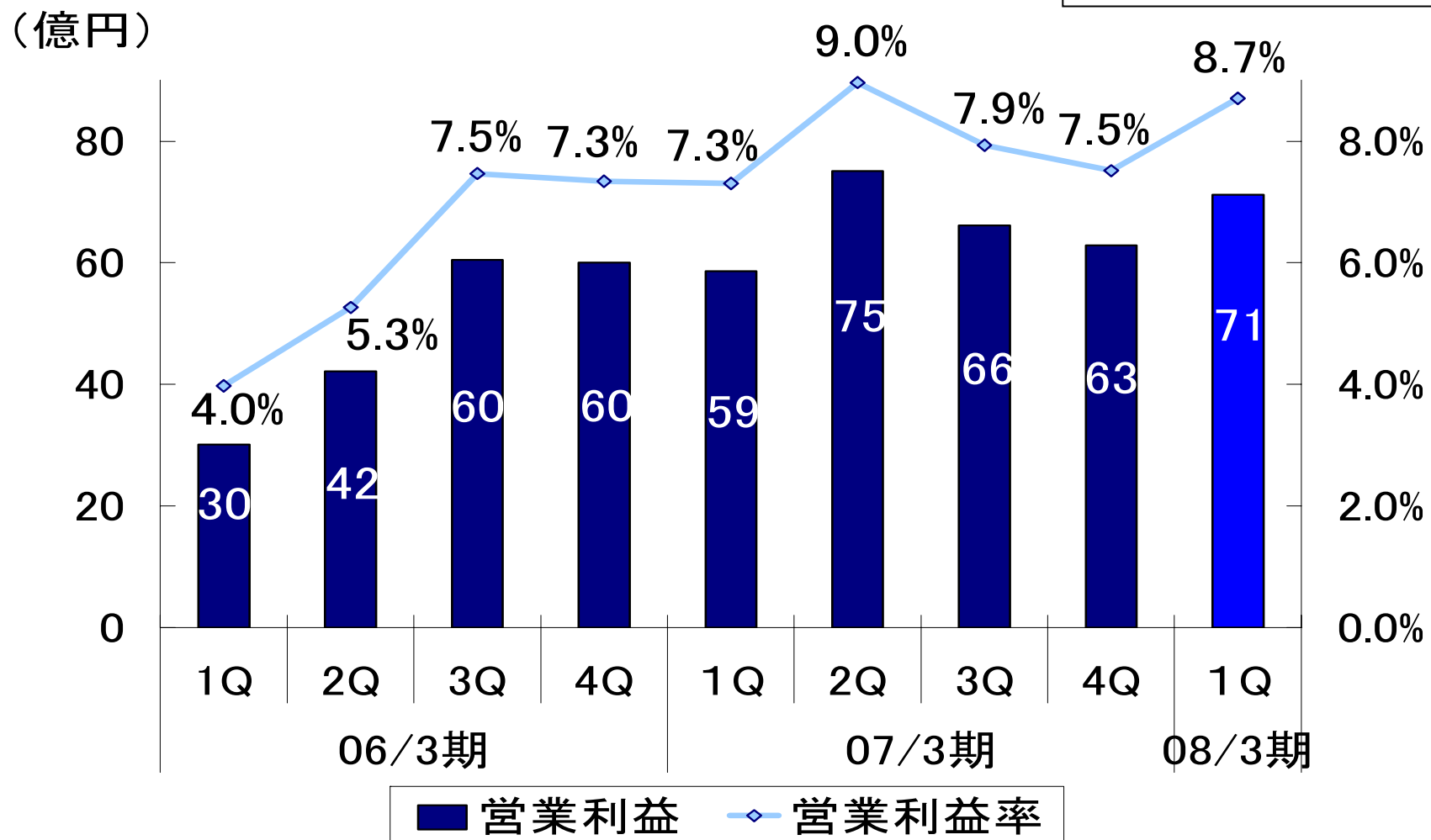
売上高



四半期推移

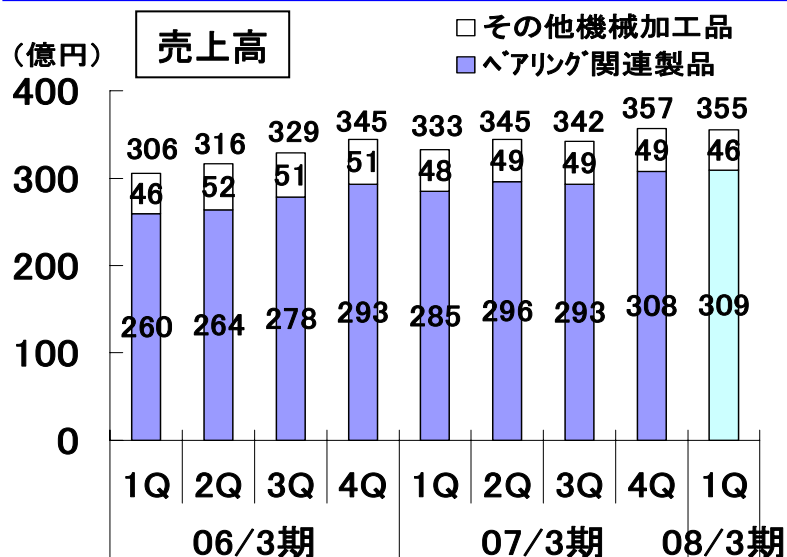
営業利益

前年同期比	+21.5%
前四半期比	+13.1%



セグメント別

機械加工品事業 売上高・営業利益



ミニチュア・小径ボールベアリング

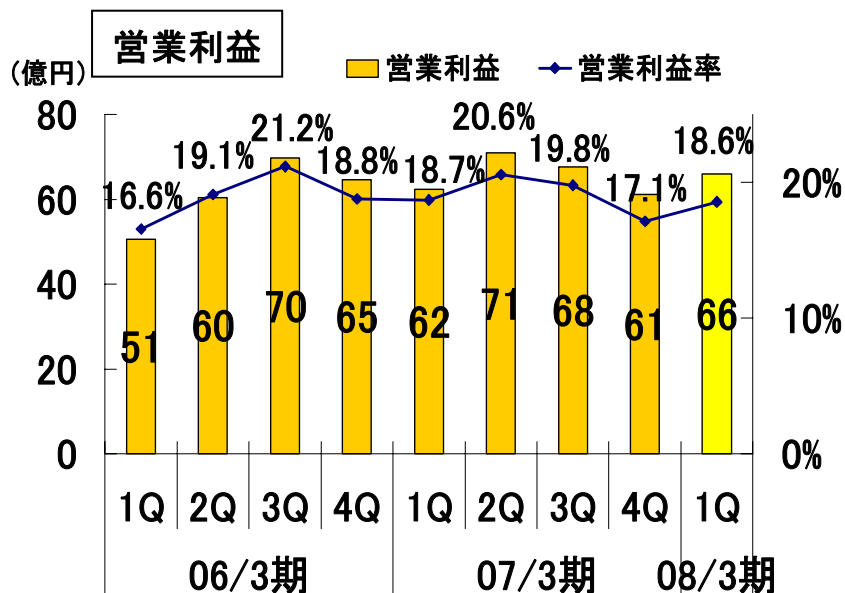
売上高 前年同期比 +6.4%
前四半期比 +1.3%

堅調な需要をうけ、計画を上回る販売

ロッドエンド&スフェリカルベアリング

売上高 前年同期比 +9.2%
前四半期比 +0.0%

航空機向けに引き続き旺盛な需要



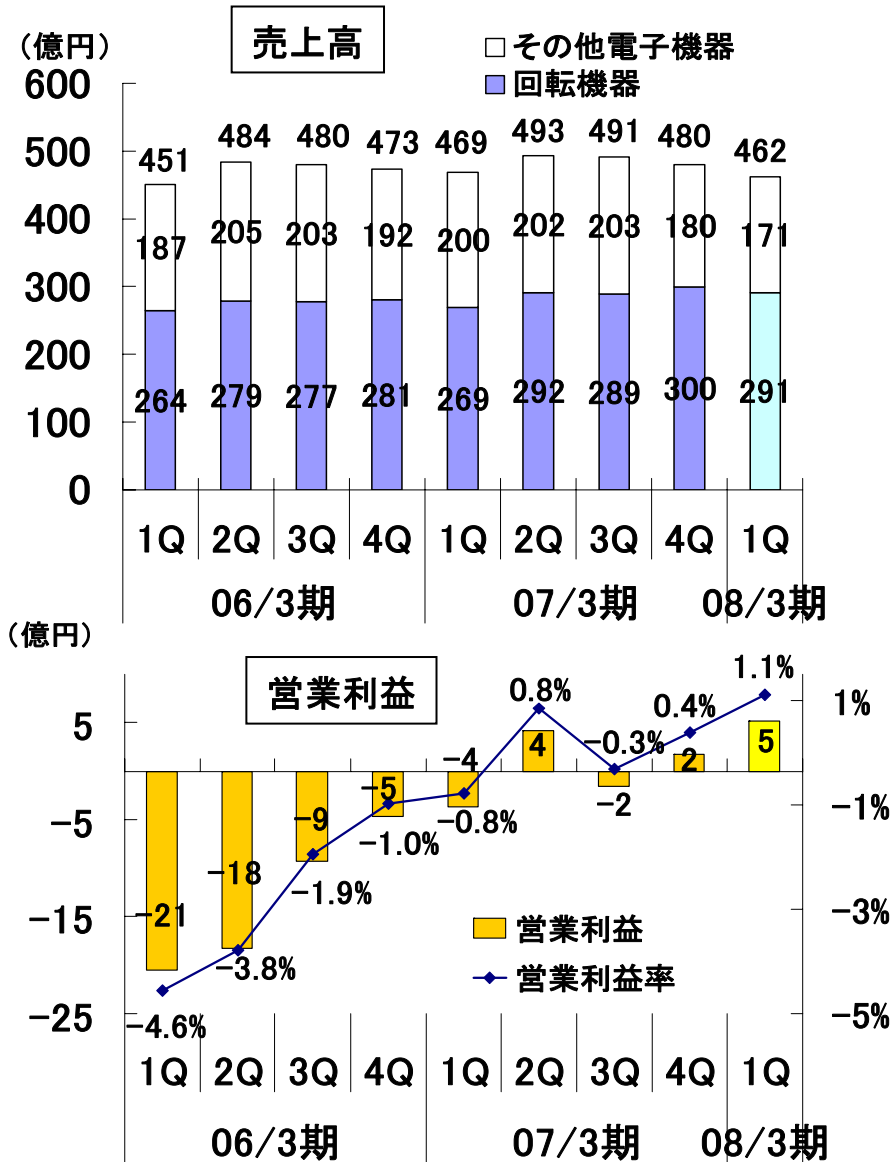
ピボットアッシー

売上高 前年同期比 +14.2%
前四半期比 -2.2%

HDD市場の在庫調整をうけて、前四半期比較で売上減少も、2Q以降は拡大見込み

セグメント別

電子機器事業 売上高・営業利益



情報モーター

売上高 前年同期比 +9.6%
前四半期比 -0.2%

コスト削減で、全般的に採算改善が続く

HDDスピンドルモーター

売上高 前年同期比 +2.3%
前四半期比 -9.8%

HDD市場の在庫調整で採算悪化
2.5インチモーターは徐々に販売増加

エレクトロデバイス

売上高 前年同期比 -2.7%
前四半期比 +1.3%

LEDバックライトは価格競争が厳しい

キーボード

売上高 前年同期比 -30.8%
前四半期比 -16.0%

事業構造改革完了で、採算大幅改善

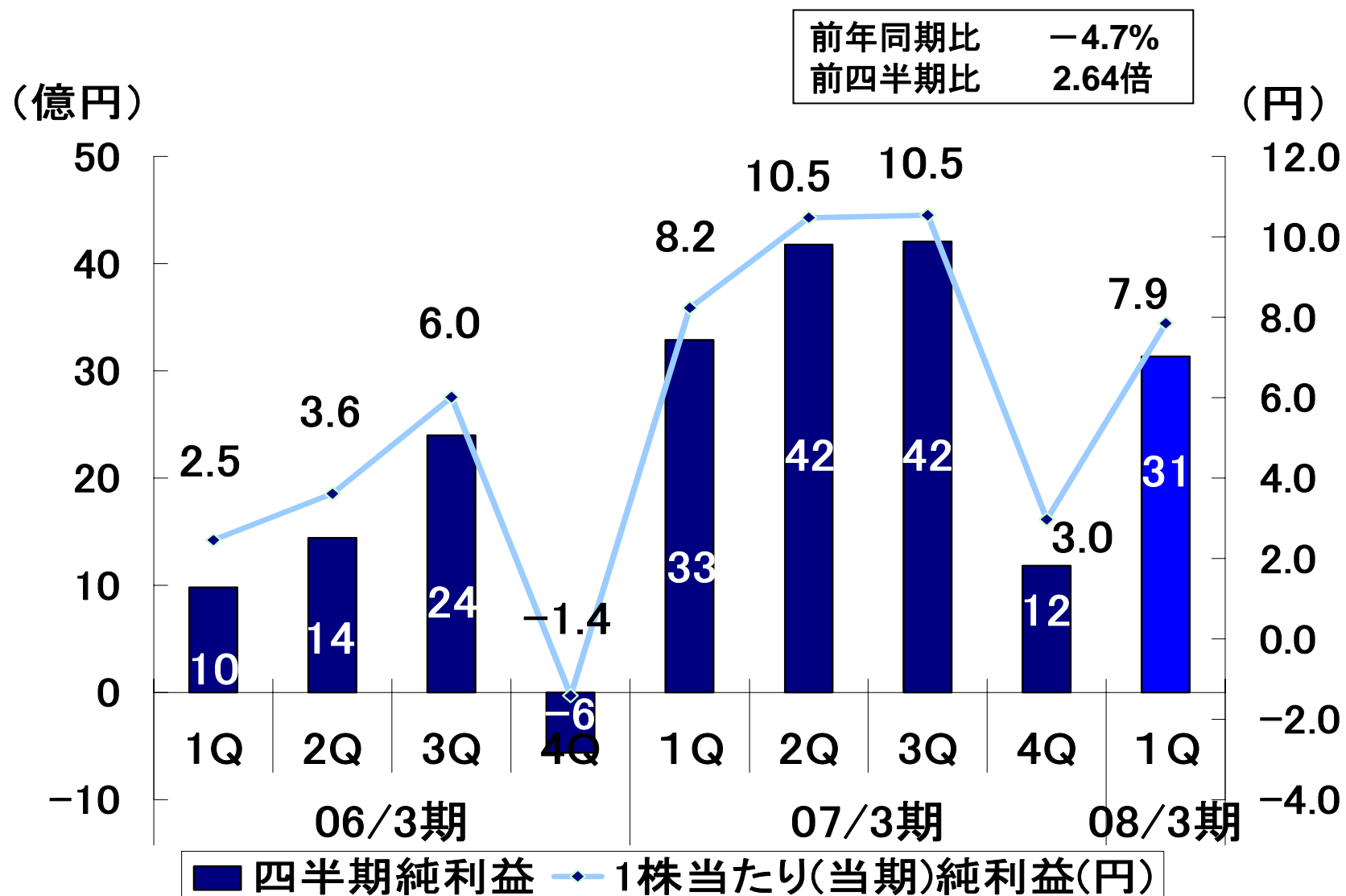
スピーカー

売上高 前年同期比 -17.5%
前四半期比 -6.5%

アジア勢との競争激化で売上減少

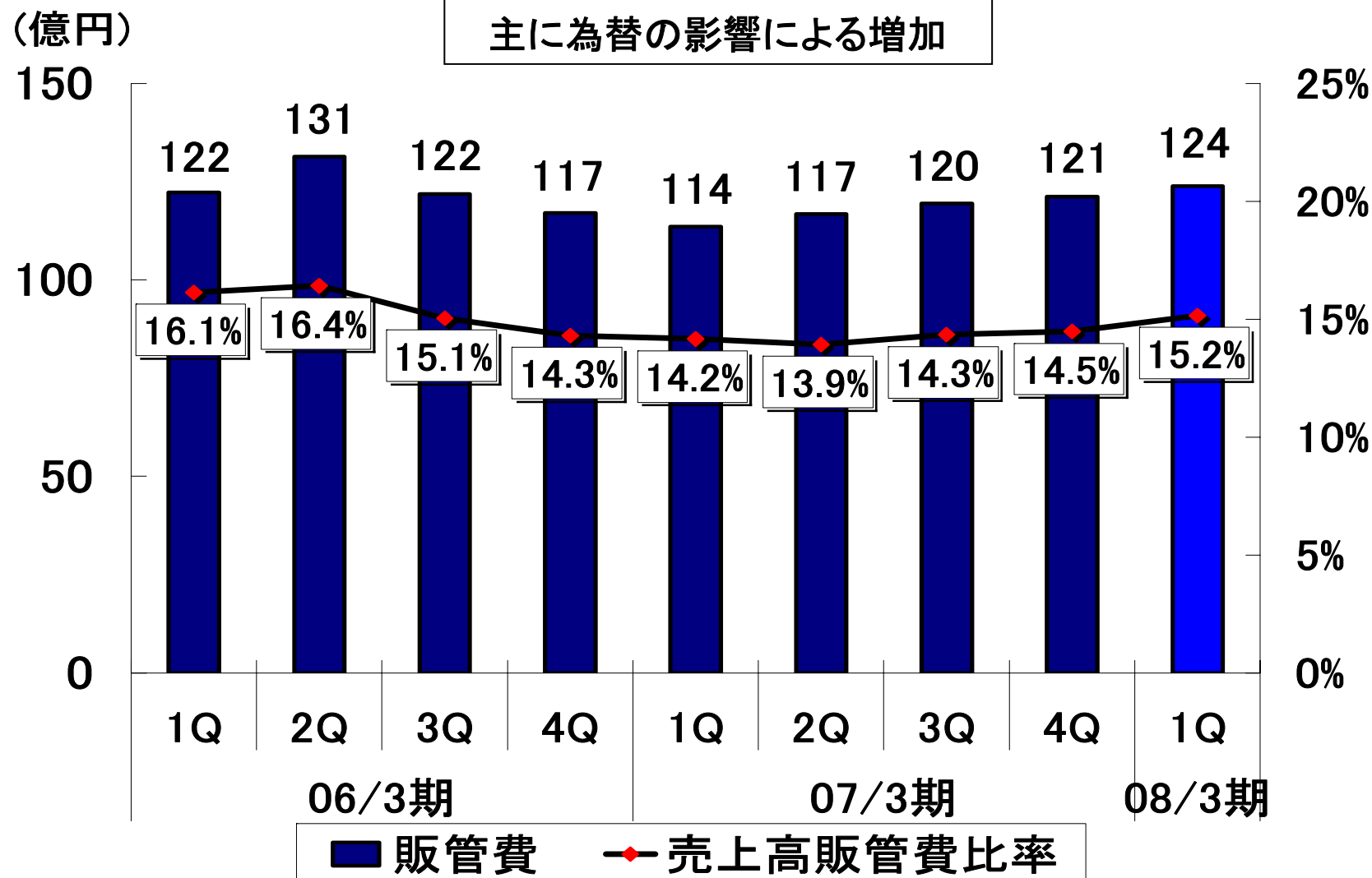
四半期推移

当期純利益



四半期推移

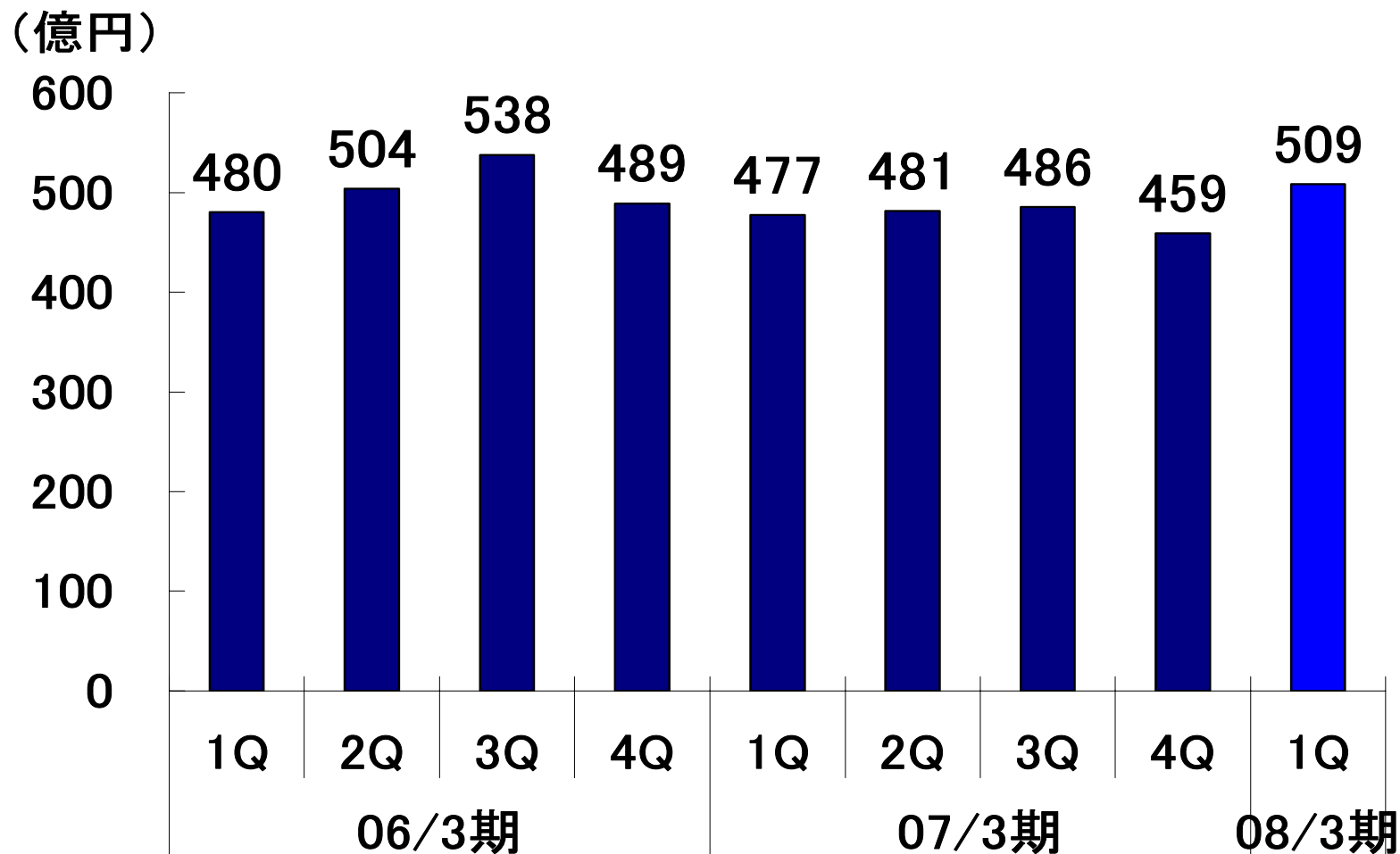
販管費



四半期推移

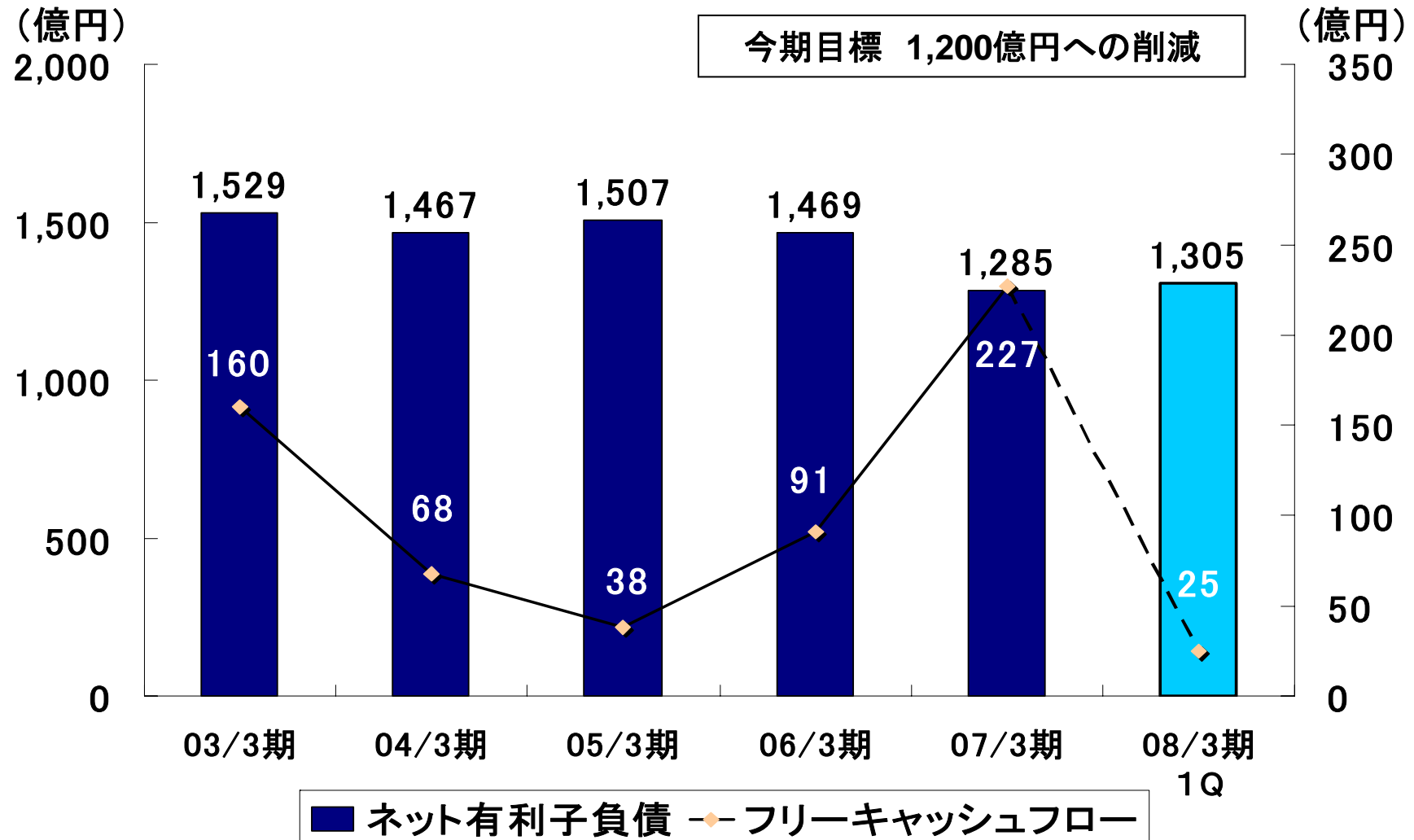
たな卸資産

為替の影響による増加分22億円はあるものの、2Q以降の需要期を見込んで在庫増加



年推移

ネット有利子負債



ネット有利子負債 : 有利子負債合計 - 現預金
フリーキャッシュフロー : 営業活動CF + 投資活動CF

業績見通し

当初見込みは変更しません

(百万円)	2007年3月期	2008年3月期	2008年3月期業績見通し			
	通期	1Q	上期	上期進捗率 1Q/上期	通期	通期伸び率
売上高	331,022	81,766	162,500	50%	335,000	+1.2%
営業利益	26,265	7,115	14,000	51%	30,000	+14.2%
経常利益	21,843	6,252	11,500	54%	25,000	+14.5%
税引前利益	19,523	5,476	10,500	52%	23,500	+20.4%
当期純利益	12,862	3,133	6,500	48%	15,000	+16.6%
一株当たり(当期)純利益(円)	32.2	7.9	16.3	48%	37.6	+16.6%

為替レート 07/3期実績 → 08/3期想定
 USドル 116.91円 → 117.00円、 タイパーツ 3.18円 → 3.25円
 ユーロ 149.75円 → 150.00円、 人民元 14.77円 → 15.00円

ミネベアにおける為替の影響

タイバーツなどアジア通貨の急激な上昇によるコスト上昇

・円安、タイバーツ高が進む

前期3Qから円安が加速、特にタイバーツは急上昇

・ドル、ユーロ高はプラス、アジア通貨高はマイナス

売上と費用の通貨構成(2007年3月期通期ベース)

売上高:USDドル=約55%、円=約30%、ユーロ=約10%

費用:USDドル=約40%、タイバーツ=約30%、

円=約15%、人民元=約10%

・対応策

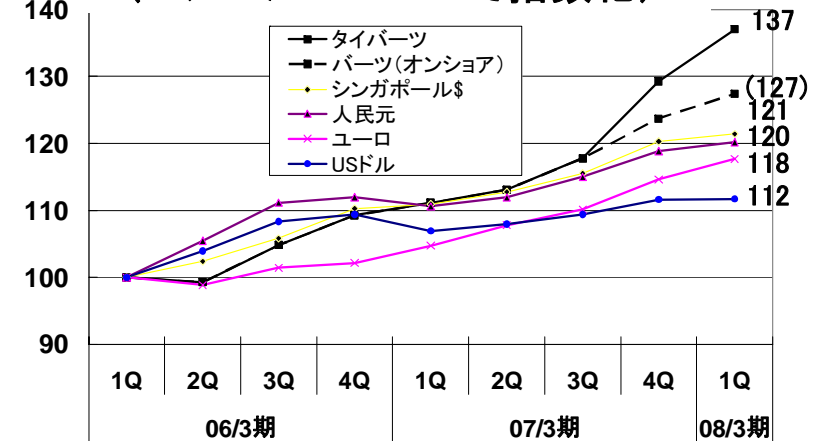
1. コスト削減計画を積み増し
2. 内製比率を高める

・タイバーツ高への対応策が効果を現し始めている

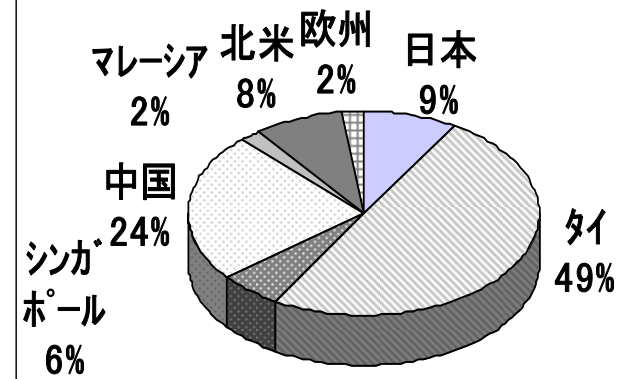
1Qは、為替の悪影響が前期4Qに比べ

推計で約5億円あったものの、営業利益は増加

四半期平均対円為替レートの推移
(1QFY3/06=100で指数化)



地域別生産高(07/3期通期)



ミネベア株式会社

決算説明会

<http://www.minebea.co.jp/>

上記説明会で述べられた内容のうち歴史的事実でないものは、一定の前提の下に作成した将来の見通しであり、また、それらは現在入手可能な情報から得られた当社経営者の判断にもとづいております。

実際の業績は、さまざまな要素により、これら見通しとは大きく異なる結果となる場合があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素としては、(1)当社を取り巻く経済情勢、需要動向等の変化、(2)為替レート、金利等の変動、(3)エレクトロニクスビジネス分野で顕著な急速な技術革新と継続的な新製品の導入の中で、タイムリーに設計・開発、製造・販売を続けていく能力、などです。但し、業績に影響を与えうる要素はこれらに限定されるものではありません。

本資料に掲載のあらゆる情報はミネベア株式会社に帰属しております。手段・方法を問わず、いかなる目的においても当社の事前の書面による承認なしに複製・変更・転載・転送等を行わないようお願いいたします。